

在宅看護学各論

[講義] 第2学年 後期 必修 1単位

《担当者名》 竹生 礼子 take-r@hoku-iryu-u.ac.jp 川添 恵理子 増田 悠佑 中安 隆志 巻 康弘 朝日
まどか(リハ)

【概要】

在宅で生活する療養者とその家族の多様なニーズと支援のあり方を学ぶ。

【学修目標】

1. 在宅療養者の多様なニーズに沿った援助を理解するために、対象者の健康と生活の理解のポイントを学ぶ。
2. 在宅療養者のニーズに合わせた継続看護と多職種連携の方法を学ぶ。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	在宅療養者の理解と援助(1)	在宅看護の目的と特徴	竹生
2	在宅療養者の理解と援助(2)	在宅看護に必要な援助姿勢と知識・技術	竹生
3	在宅療養者の理解と援助(3)	慢性疾患をもつ在宅療養者の理解と援助	増田
4	在宅療養者の理解と援助(4)	難病をもつ在宅療養者の理解と援助	増田
5	在宅療養者の理解と援助(5)	精神障がいをもつ在宅療養者の理解と援助	中安
6	在宅療養者の理解と援助(6)	在宅で療養する小児と家族の理解と援助 ～小児を支援する看護の実際～	田邊拓矢 (特別講師) 竹生
7	在宅療養者の理解と援助(7)	在宅でエンドオブライフを過ごす療養者の理解と援助	竹生
8	継続看護と多職種連携(1)	移行 (Transition) と継続看護マネジメント	川添
9	継続看護と多職種連携(2)	療養者と家族の意思決定支援	川添
10	継続看護と多職種連携(3)	継続看護マネジメントの展開と療養者のトラジェクトリ(1)	川添
11	継続看護と多職種連携(4)	継続看護マネジメントの展開と療養者のトラジェクトリ(2)	川添
12	継続看護と多職種連携(5)	在宅看護と多職種連携(1) ～在宅看護とソーシャルワークの連携～	巻
13	継続看護と多職種連携(6)	在宅看護と多職種連携(2) ～在宅看護とリハビリテーションの連携～	朝日
14	継続看護と多職種連携(7)	多職種で取り組む在宅療養者のリスク・マネジメント とセーフティ・マネジメント	竹生
15	まとめ	まとめ	竹生

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学環、学校の授業実施方針による

【評価方法】

課題提出15%、定期試験(筆記試験)85%

【教科書】

スーディ 神埼和代編：地域・在宅看護学講座．ナカニシヤ出版，2024．

櫻井尚子・渡部月子・臺有桂：ナーシンググラフィカ 地域・在宅看護論 地域療養を支えるケア．メディカ出版，2022．

【参考書】

アフアフ・イブラハム・メレイス監修・編集：片田範子監訳：移行理論と看護．学研メディカル秀潤社，2019．

國森康弘：いのちつぐ「みとりびと 1」全4巻、農文協、2012．

國森康弘：いのちつぐ「みとりびと 2」全4巻、農文協、2012．

國森康弘：いのちつぐ「みとりびと 3」全4巻、農文協、2012．

國森康弘：いのちつぐ「みとりびと 4」全4巻、農文協、2012．

長江弘子：生活と医療を統合する継続看護マネジメント 第2版．医歯薬出版、2018．

【学修の準備】

- 1) 教科書の該当ページをあらかじめ読み予習して授業に臨むこと。(予習30分)
- 2) 授業後に該当する範囲の教科や指定された文献などで復習すること。(復習30分)
- 3) 疾患に関する課題について自己学習し、レポートを提出する。看護過程の展開記録(アセスメント)を記載し提出する。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2: 看護専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身につけている。

【実務経験】

竹生礼子(看護師・保健師・訪問看護師・介護支援専門員)

川添恵理子(看護師・保健師・訪問看護師・退院支援看護師・地域看護専門看護師・介護支援専門員)

増田悠佑(訪問看護師・病棟看護師・外来看護師)

中安隆志(看護師・訪問看護師・精神看護専門看護師)

巻康弘(社会福祉士、認定社会福祉士(医療分野)、認定医療社会福祉士、介護支援専門員)

朝日まどか(作業療法士)

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関・訪問看護事業所等の実務経験で身につけた知識・技術・援助姿勢をいかし、実践で活用できるよう講義・演習を行う。

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している